



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 英和株式会社

上場取引所

東

コード番号 9857

URL <https://www.eiwa-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿部 吉典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 玉置 崇久

(TEL) 06-6539-4801

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,565	3.2	423	△14.4	449	△14.2	296	△15.3
2025年3月期第1四半期	9,267	4.8	494	35.2	523	31.7	350	32.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 334百万円(△5.7%) 2025年3月期第1四半期 354百万円(4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	46.84	—
2025年3月期第1四半期	55.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	30,449	17,005	55.9
2025年3月期	33,123	16,956	51.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 17,005百万円 2025年3月期 16,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	2.5	1,090	0.2	1,120	0.2	740	△10.8	116.93
通期	48,500	2.9	2,860	2.6	2,920	2.3	1,960	0.3	309.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	6,470,000株	2025年3月期	6,470,000株
2026年3月期1Q	141,370株	2025年3月期	141,370株
2026年3月期1Q	6,328,630株	2025年3月期1Q	6,328,789株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年6月30日まで)におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続く中、インバウンド需要の拡大や個人消費の持ち直しの動きも見られ、全体として緩やかな回復基調を維持しました。一方で、原材料価格の高止まり、米国の通商政策をはじめとする各国の政策リスク、世界経済の減速懸念、地政学的リスクの長期化、人手不足の深刻化など、先行きには依然として不透明感が残る状況となっています。

当社グループの主要販売業界であります化学業界、鉄鋼業界等におきましては、人手不足の影響による建設工事の先送りに加え、脱炭素化の進展や中国での生産量増加に伴う国際的な供給圧力を背景に需要が低迷し、生産設備の稼働率は低水準で推移しています。そのような中、生産工程の最適化や設備の効率的な運用を目的とした見直しの検討が進められています。一方、造船業界におきましては、老朽船更新や将来的な海上輸送量の増加を見据えた新造船需要が堅調に推移している他、GHG(温室効果ガス)排出量削減を目的とした環境配慮型船舶へのニーズも高まっています。設備投資につきましては、労働人口の減少や技能継承の課題に対応する自動化・生産性向上のための投資、脱炭素社会の実現に向けた燃料転換やエネルギー効率の向上、製造プロセスの見直しによる環境負荷低減に資する投資、更に自然災害への備えや老朽化したインフラ設備への対応を目的とした国土強靱化の投資の検討が進められています。

このような事業環境の下、当社グループにおきましては、2023年4月よりスタートした中期経営計画の3年目となる2025年度においても、経営基本方針「持続可能な成長に向けた5Sの強化」を掲げ、不確実性が増す環境下でも持続可能な社会の構築と企業価値の向上を目指し、顧客ニーズの多様化に対応できる強固な経営基盤の構築と安定的な成長の実現に取り組んでまいりました。具体的には、重点戦略である既存顧客への深耕開発と成長ビジネスへの注力を掲げ、DX(デジタルトランスフォーメーション)、GX(グリーントランスフォーメーション)、社会資本整備の3分野をテーマに、全国に展開する営業拠点網を最大限に活用しながら、お客様の課題に寄り添ったソリューション提案を通じて、営業戦略の推進に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、社会インフラ分野で活用される特殊車両や各種機器の受注が堅調に推移しました。販売面では、電力業界向けが減少したものの、造船業界においては、環境配慮型船舶の建造や新造船の建造需要が継続したことを背景に、同業界向けの販売が増加しました。加えて、化学業界、鉄鋼業界では、定期修理に伴う設備投資需要の他、生産性向上や技能継承を目的としたデジタル投資需要を取込んだことにより販売が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の売上高は95億65百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。一方で、商品の販売構成が変化したことにより、売上総利益16億61百万円(同0.9%減)となりました。また、社員の能力開発やエンゲージメント向上を目的とした人材投資の強化に伴い、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益4億23百万円(同14.4%減)、経常利益4億49百万円(同14.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億96百万円(同15.3%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ26億74百万円減少し、304億49百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べ受取手形、売掛金及び契約資産が33億31百万円減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ27億23百万円減少し、134億43百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が23億83百万円減少したことが主な要因であります。

純資産は、利益剰余金の配当による減少が2億84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億96百万円であること、その他有価証券評価差額金が69百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、170億5百万円となりました。その結果、自己資本比率は55.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月12日に発表した業績予想通り変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,108,352	6,712,889
受取手形、売掛金及び契約資産	15,976,034	12,644,723
電子記録債権	4,136,062	3,819,502
有価証券	—	99,410
棚卸資産	1,983,962	2,192,310
その他	413,106	614,248
貸倒引当金	△1,948	△1,588
流動資産合計	28,615,569	26,081,495
固定資産		
有形固定資産	1,560,048	1,579,310
無形固定資産	66,267	83,811
投資その他の資産		
その他	2,929,318	2,751,602
貸倒引当金	△47,581	△47,099
投資その他の資産合計	2,881,736	2,704,502
固定資産合計	4,508,052	4,367,623
資産合計	33,123,622	30,449,119
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460,440	4,076,642
電子記録債務	6,576,115	6,881,548
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	48,674	65,324
未払法人税等	662,488	30,258
賞与引当金	714,662	198,841
役員賞与引当金	85,250	11,550
その他	1,345,156	1,850,340
流動負債合計	15,942,786	13,164,505
固定負債		
長期借入金	68,000	121,122
退職給付に係る負債	19,630	20,922
その他	136,448	136,720
固定負債合計	224,079	278,764
負債合計	16,166,865	13,443,270

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,533,400	1,533,400
資本剰余金	1,567,550	1,567,550
利益剰余金	13,196,172	13,207,656
自己株式	△51,511	△51,511
株主資本合計	16,245,611	16,257,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312,399	381,745
為替換算調整勘定	71,457	52,826
退職給付に係る調整累計額	327,288	314,181
その他の包括利益累計額合計	711,145	748,753
純資産合計	16,956,756	17,005,848
負債純資産合計	33,123,622	30,449,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,267,525	9,565,852
売上原価	7,592,120	7,904,827
売上総利益	1,675,404	1,661,025
販売費及び一般管理費	1,180,737	1,237,547
営業利益	494,666	423,477
営業外収益		
受取利息	653	1,967
受取配当金	14,942	16,760
仕入割引	4,325	1,795
保険返戻金	5,535	4,325
為替差益	1,554	207
その他	3,742	3,014
営業外収益合計	30,754	28,070
営業外費用		
支払利息	510	586
支払保証料	1,311	1,063
その他	90	732
営業外費用合計	1,912	2,383
経常利益	523,509	449,165
税金等調整前四半期純利益	523,509	449,165
法人税、住民税及び事業税	4,157	6,543
法人税等調整額	169,219	146,200
法人税等合計	173,377	152,743
四半期純利益	350,131	296,421
親会社株主に帰属する四半期純利益	350,131	296,421

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	350,131	296,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,051	69,346
為替換算調整勘定	11,842	△18,631
退職給付に係る調整額	△16,640	△13,107
その他の包括利益合計	4,253	37,607
四半期包括利益	354,385	334,029
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,385	334,029
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似している事等から判断して、当社グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	20,900千円	21,755千円

3. 補足情報

販売実績

当第1四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	売上高（千円）			
	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	対前年同四半期 増減率（%）	構成比 （%）
工業用計測制御機器	4,892,967	4,932,252	0.8	51.6
環境計測・分析機器	788,550	986,723	25.1	10.3
測定・検査機器	357,672	338,201	△5.4	3.5
産業機械	3,228,334	3,308,675	2.5	34.6
合計	9,267,525	9,565,852	3.2	100.0

（工業用計測制御機器）

製造現場のDX推進による安定操業と生産性向上を目的に、生成AIやIoT等のデジタル技術を活用した設備稼働の可視化、予防保全の高度化、帳票の電子化などの提案を実施しました。その結果、電力業界向けの販売が減少したものの、製造用機械・電気機器、産業用装置・重電設備、鉄鋼業界向けに各種センサーや情報通信機器の販売が堅調に推移しました。また、生産設備の稼働率が高い造船業界向けの販売も伸長し、全体としては微増となりました。

（環境計測・分析機器）

気候変動対策や労働環境改善への貢献を目的に、遠隔監視技術を活用した環境計測・分析機器の提案を実施するとともに、定期修理需要や設備更新を契機とする水質・大気・ガス分析機器の販売及びメンテナンスの提案にも取り組みました。その結果、化学、製造用機械・電気機器、造船業界向けに水質・大気分析計やガス検知器の販売が堅調に推移し、売上の伸長につながりました。

（測定・検査機器）

脱炭素社会の実現や製造現場の信頼性向上を目的に、GI（グリーンイノベーション）基金事業を活用した素材の研究開発や高精度測定ニーズに対応した各種検査機器の提案、設備保全に資するメンテナンスソリューションの営業展開を実施しました。その結果、生産現場の安全性向上につながる保安メンテナンス機器や、化学業界向けに大型検査機器の販売が堅調に推移しましたが、前連結会計年度に大型案件のあった自動車業界向けの販売が一巡し、全体としては減少となりました。

（産業機械）

防災・減災、国土強靱化といった社会的ニーズに対応した道路維持機械や特殊車両の提案に加え、サーキュラーエコノミーに関連する産業機械、省エネルギー性能に優れた機器や脱炭素燃料の活用に対応した機器の導入、安心・安全の向上を目的とした老朽化設備の更新提案に取り組みました。その結果、社会インフラ分野で活用される特殊車両や化学業界向けの定期修理を契機とする販売は堅調に推移しました。また、生産設備の稼働率が高い造船業界向けの販売が好調に推移した他、水素社会の実現に向けた投資需要を取込み、各種電解評価装置や電解セル等の販売も、売上の伸長につながりました。